

「若年層のネット利用の課題」

帝塚山大学 経営学部

NPOナリス(なら情報セキュリティ総合研究所)

日置慎治

僭越ながら… 自己紹介



- NPOなら情報セキュリティ総合研究所にて、奈良県を中心にセキュリティ・情報モラルに関する啓発活動しています
- 帝塚山大学では「ネットワーク」を教えています
- 「青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム」と共同で、「ネットパトロール」、「高校生セルフルールブック」、「大学生スマホ講習会」「奈良県学生スマホ宣言」活動等を行っています
- 教員免許更新講習の講師として、青少年の携帯やネット利用に関する講義を担当しています
- 子を持つ親として、ネットやスマホの話題も常に身近に感じております

授業風景：ネットワーク実習



ネットパトロール

ネットに詳しい帝塚山大学生が、
県内の児童・生徒の書き込みをチェック

朝日新聞
DIGITAL

子どもを守るネットパトロール 帝塚山大の学生取り組み



パソコンを使ってインターネット上の書き込みを探す学生たち=奈良市帝塚山7丁目の帝塚山大



【渡義人】子どもたちをインターネット犯罪から守ろうと、帝塚山大学(奈良市)の学生がパソコンや携帯電話を使い、「ネットパトロール」に取り組んだ。想定していたいじめの書き込みは見つけられなかったが、危険な書き込みを県や県教委に報告した。

県や県教委、県警などで作る「青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム」との共同事業で、帝塚山大経営学部の日置慎治教授(50)のゼミ生有志7人が昨年10月末から、取り組んだ。

見つかった書き込みの例

- ブログ(〇〇高校〇年〇組 〇〇(実名))

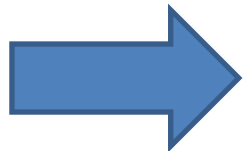
今日は暇やなあ～！

また皆で酒パしようや！

最近飲んでないからお酒飲みたいわ！

あ、タバコ切れたから買いに行ってくるわ！

最近はセブンスター！！



飲酒行為、喫煙行為

奈良県は

みんなですまホに

向き合おう

高校生が作成したルールブック

小・中・高校生が考えた!

インターネット セルフルールブック

インターネットの危険・被害・防止方法等について、小・中・高校生が考えたルールブックです。インターネットの危険・被害・防止方法等について、小・中・高校生が考えたルールブックです。

インターネットの危険・被害・防止方法等について、小・中・高校生が考えたルールブックです。



インターネットの危険・被害・防止方法等について、小・中・高校生が考えたルールブックです。

奈良県高等学校生徒会連絡会
青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム
(平成26年度 文部科学省委託事業)



委員長メッセージ	1
代表的なトラブル事例	2
奈良県小・中・高校生の スマホ・ケータイ事情	4
SNS事件簿	5
スマホ・ケータイ 保存診断書	6
高校生から各世代への メッセージ	10
ネットトラブル Q & A	12
セルフルールを作ろう!	13

小学生のみんなは、保護者と一緒に読んでね!



乗っ取り被害に？



**IDやパスワードは他人に知られないように
しっかり管理しましょう！**

**ID→コンピュータなどの利用者を見分けるために
使われる文字や数字など**



高額請求が!!



**アプリやアプリ内でアイテムを購入するとき
は、保護者に必ず相談しましょう！**

スマホ・ケータイ依存診断すごろく



スタート

<p>一日にどれくらい スマホ・ケータイを使う？</p> <p>スマホ・ケータイを持ってない → 右に3進む</p> <p>～2時間 → 右に1進む</p> <p>2時間～ → 下に1進む</p>	<p>スマホ・ケータイを使い過ぎて行うべきことができない</p> <p>はい → 1進む</p> <p>いいえ → 階段を下りる</p>	<p>2進む</p>	<p>診断結果 1へ</p>	<p>スマホ・ケータイのことでよくけんかする</p> <p>はい → すべり台を降りる</p> <p>いいえ → 1進む</p>	<p>診断結果 3へ</p>
<p>スマホ・ケータイを5分以上手放せない</p> <p>はい → 6進む</p> <p>いいえ → 3進む</p>					
<p>5進む</p>	<p>「1日使うな」と言われても大丈夫</p> <p>はい → 2進む</p> <p>いいえ → 1進む</p>	<p>スマホ・ケータイがないと落ち着かない</p> <p>はい → 2戻る</p> <p>いいえ → はしこを上る</p>	<p>診断結果 2へ</p>	<p>診断結果 4へ</p>	<p>何よりもスマホ・ケータイが優先だ</p> <p>はい → 1戻る</p> <p>いいえ → はしこを上る</p>



依存(いぞん)…頼って生活すること

診断結果は次のページへ

大学生が小学校でスマホ講習



奈良県スマホ学生宣言（高校生）

大切なのは自戒の心

～あなたは大丈夫？～



平成27年12月20日に開催した奈良県スマホ学生フォーラムにて「奈良県高等学校生徒会連絡会インターネットセルフルールブック活用プロジェクトチーム」が奈良県スマホ学生宣言をおこないました。→[詳細はこちらから](#)

NPOナリス

www.nariis.or.jp

特定非営利活動法人

NARIIS

なら情報セキュリティ総合研究所 (ナリス)

Nara Advanced Research Institute for Information Security



[TOP](#)
TOP PAGE

[情報セキュリティ対策支援](#)
ITPOLICY

[小学校ICT教育支援](#)
ICT

[ケータイ安心出前講座](#)
CELLPHONE

[インターネット安全教室](#)
ITCLASSROOM

[ITキャラバン](#)
ITCARAVAN

サイト内検索 powered by Google

いいね!

171人がいいね!しています。Facebookに登録するして、友達の「いいね!」を見ても

新着情報

2015年4月20日 [「第1回」なら情報セキュリティ総合研究所「ナリス」](#)



[プロフィール](#)
PROFILE



[お問い合わせ](#)
FORM

Grafsec-J 第1回全国大会、上原先生

Grafsec-J第1回全国大会「サイバーセキュリティ関連」上原様

「草の根セキュリティ」的活動領域

NPO情報セキュリティ研究所(和歌山)

学校への出前講習・ネットパトロール・相談事業

市町村情報化・セキュリティ確保支援

NPOなら情報セキュリティ研究所(ナリス)

小学校ICT教育支援・情報モラル講師派遣/養成

市町村情報化・セキュリティ確保支援

京都府警サイバー特別捜査官育成への支援

ITコンソーシアム京都クラウド部会での活動

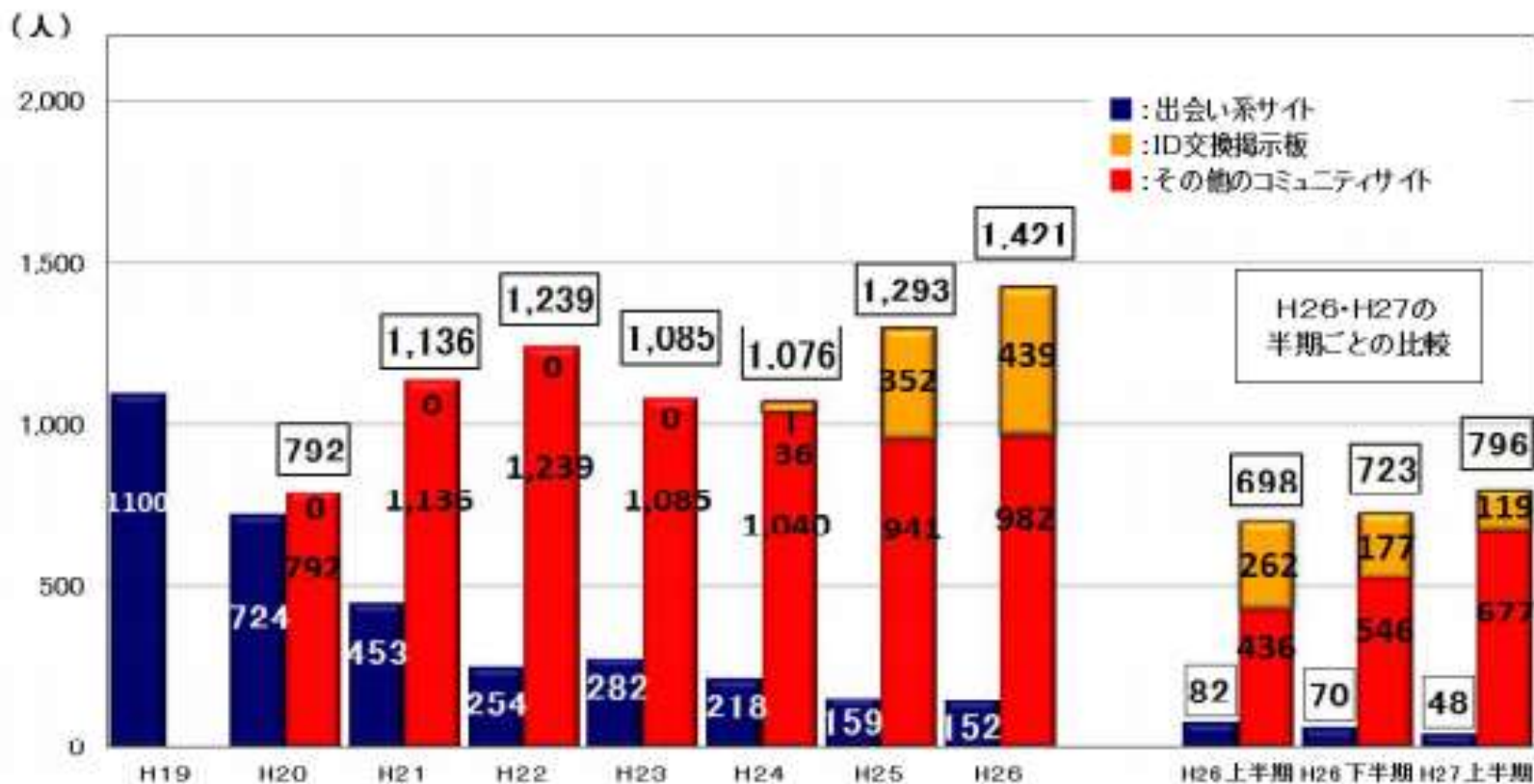
本日の主な話題



「若年層のネット利用の課題」は多い

- コミュニティサイト等での他人との接触
- ネットいじめ
- 違法行為、モラルに反する行為
- 有害情報(アダルト、薬物、自殺・・・)
- 詐欺、ウイルス
- 迂闊・安易な投稿
- 個人情報への漏えい、プライバシー侵害
- デジタルタトゥー
- ネット依存、スマホ依存、睡眠不足

【出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の被害児童数の推移】



※ コミュニティサイトの統計は平成20年から取り始めた。

平成27年上半期の出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について(警察庁: 平成27年10月15日)

整理：ネットの功罪

- ネットは便利である。しかし使い方を誤ると様々な悪影響がある。
- 若年層に関して
 - (1) 自分を守る、
 - (2) 友人を守る、
 - (3) 健康を守る、
- の3つの観点から考えてみたい。

(1) 自分を守る

ア. デジタルタトゥー

- 刺青(いれずみ)は簡単には消えない。
- ネットに一度公開された書き込みや写真も簡単には消せないことから、電子刺青(=デジタルタトゥー)と呼ばれる。
- 客の悪口をネットにつぶやいた店員がこのことが原因で退職に追い込まれたが、この事実がネットに残っている限り再就職に困難が予想されること、
- 恋人に送った裸の写真が別れた後にネットに公開されるリベンジポルノなど、
- デジタルタトゥーの負の側面をしっかりと見据えて自分を守るためにどうすればよいかを考えていかなければならない。

イ. 個人情報

- 自分の写真をネットに投稿したため、加工されて出会い系サイトに使われたり、
- 懸賞サイトに登録したメールアドレスに詐欺メールが殺到したり、
- GPS機能付きのスマホで撮影した写真の位置情報から自宅が特定されたり、
- インストールしたゲームアプリの裏でスマホのアドレス帳がネットに転送されたり、
- 個人情報が漏れる危険性は多岐にわたる。

(2) 友人を守る

- コミュニケーションツールでは、グループで気軽に会話ができる。
- 簡単にグループを作ることができる。
- しかしグループから特定の人を外したり、特定の人を加えないグループを簡単に作成できるなど、いじめのきっかけになる
- 「なんでくるの?」「かわいくない?」
- 本来であれば気軽な問いかけなのだが、文字だけの会話で「?」を忘れたためにきつい感じに受け取られ友人との関係がぎくしゃくすることもある。
- 本来コミュニケーションは人間同士の関係の潤滑油であるはずが、適度な距離感がつかめない場合には逆の作用を引き起こす場合もある。仲の良い友人ならなおさら、ネットを通じた関係が主とならないように行動しなければならない。

(3) 健康を守る

- 子どもの健全な成長のためには十分な睡眠が必要である。
- 以前なら子どもが夜にテレビばかり見ていたら早く寝るように親が注意したものである。
- しかし現在、スマホを持つ子どもの中には夜中に使い続けるために寝不足になり、
- その結果学校で眠たくなったり、体調を崩したりと健康に悪影響が見られる。

- グループの中で自分だけ先に寝ると、その後の会話がわからないため、翌日学校でグループの会話についていけないから先に寝ることができない。
- ネットの仲間とチームを組んでゲームをしているため自分だけ先に寝るとチームに迷惑がかかると思い先に寝ることができないなど、
- ネット依存、スマホ依存、ゲーム依存と呼ばれる症状のため、十分な睡眠がとれなくなる子どもが見られる。

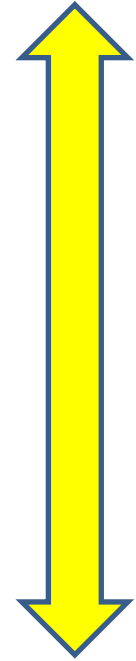
ルール作り

- 便利の裏にひそむ、スマホによる様々な悪影響への対策として、利用者である青少年みずからが使い方を改善することが最善の策であることは間違いない
- が、小さいうちはルールを作り、それを守るように教育することも大切である。
- 学校や地域の中には、自分たちでルールを作り、やってよいこと、してはいけないこと、利用制限などを明確にしている。
- 子どもたちの睡眠時間が増えたとか、精神的に楽になったとかといったよい結果が見られることから、今後はルール作りがますます広がることを期待したい。

インターネットは安全？

- 徒歩は安全？（1歳～？）
- 自転車の運転は安全？（5, 6歳～？）
- バイクの運転は安全？（16歳～）
- 自動車の運転は安全？（18歳～）

安全、低スキル



危険、高スキル

インターネットはどのレベル
あなたはどうか感じられますか？



総務省 安心してインターネットを使うために

Google® カスタム検索

検索

国民のための情報セキュリティサイト

はじめに

基礎知識

一般利用者の対策

企業・組織の対策

用語辞典

ホーム > 基礎知識 > インターネットの安全な歩き方

基礎知識

インターネットを使ったサービス

どんな危険があるの？

インターネットの安全な歩き方

IDとパスワード

認証の仕組みと必要性



インターネットの安全な歩き方

インターネットには、さまざまな脅威があります。そのような脅威に晒され、大きな被害や影響を受けないためには、どのようなことをすればよいのでしょうか。

ここでは、そのための主な方法を説明します。

- > IDとパスワード
- > ウイルスに感染しないために
- > 不正アクセスに遭わないために
- > 詐欺や犯罪に巻き込まれないために
- > 事故・障害への備え
- > 情報発信の心得

ネットが子どもに与える影響

- インターネットは「外海」
- 本来、何歳から使わせるべきなのかを真剣に議論するべきではないか？
- 「バイク買って！」と言われて「はいはい」と買う親は少ないのに・・・
- 「情報」の内容によって「レイティング」
(例)映画のレイティング



映画のレーティングシステム

映画のレーティングシステム(えいがのレーティングシステム、英語: rating system)は、映画鑑賞の隣ができる年齢制限の枠、およびその規定。

先進国を中心に多くの国で規定されており、日本では映画倫理委員会(映倫)が審査を行っている。

各国のレーティングシステムの比較

国/地域・規定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17+	アダルト ^[1]
日本・映画倫理委員会	G					PG12						R15+			R18+			
韓国・映画物等級委員会	全体					12可						15可			青不			
アメリカ合衆国・MPAA	G					PG						PG-13			R	NC-17		
カナダ・ケベック州以外の映画等級委員会	G					PG						14A			18A	R/A		
メキシコ・RTC	AA			A			B			B15			C					
ブラジル・MJ/DEJUS	ER / L				10		12		14		16		18					
イギリス・BBFC	U				PG				12/12A				15		18			
ドイツ・FSK	FSK 0			FSK 6				FSK 12				FSK 16		FSK 18				
ポーランド・KRRiT	BO			7				12		15			18/21					

ネットは外海 (EMAコラム第37回)

検索 !

Google

ネットは外海

ウェブ ニュース 画像 地図 動画 もっと見る ▾ 検索ツール

約 150,000 件 (0.25 秒)

ネットは外海である - モバイルコンテンツ審査・運用監視機構の ...

<https://www.ema.or.jp/news/nl2014/448.html> ▾

EMA事務局通信448 2014/06/09 □□【コラム 第37回】『ネットは外海である』帝塚山
大学 経営学部 教授 / EMA審査・運用監視委員会委員 日置 慎治 □□

会員及び関係者 ...

ネットは外海



- 子どもに安全と安心を与え、
 - 悪影響を及ぼすものから子どもを守る ことが、
 - 保護者や大人の責務である。
-
- 子どもが危険な所へ外出する のを
 - 許す大人は正しいはずがなく、
 - ましてやそれが本来寝るべき時 間帯であれば
 - なおさらである。

ネットは外海(つづき)

- しかし現在、
- 子どもたちが危険な所を訪れ、
- 危害を加えるかもしれない人と交流している。
- しかも、夜中にも、である。
- それはネット上での事である。
- 子どもが家から出ていないから大丈夫だとか、
- ネット上なので実害が及ばないから安心だ
- なんて、実情をあまりに知らなさすぎる。
- 実際、様々な事件や犯罪に巻き込まれている子どもが後を絶たない。

ネットは外海(つづき)

- 大人が子どもを見ていない現実
- 子どもを信頼しているというよりも、
- 放棄しているとしか思えない。
- 大人、特に保護者は本当にこれでよいのだろうか
- あまりにも技術の進歩が速すぎて、どうしてよいかわからないということかもしれない
- そうとするなら、この現状を変える第一歩は
- 子どもにスマホ等を与える**保護者への**
- **教育と啓発**であることは明白である

フィルタリングは法律です(18歳未満) 青少年インターネット環境整備法

保護者は、・・・フィルタリングソフトウェアの利用その他の方法によりインターネットの利用を適切に管理

www.pref.nara.jp/32842.htm



サイトマップ ホームページの使い方 A+ 文字を大きく 拡大方法の説明

検索

トップページ 奈良県の紹介 くらし・環境 教育・人権・交流 保健・医療・福祉 しごと・産業 県政情報 県の組織

トップページ > 県の組織 > くらし創造部 > 青少年・生涯学習課 > 青少年健全育成条例関係 >

印刷する

奈良県青少年の健全育成に関する条例の一部改正について

保護者は、青少年がフィルタリングサービスを利用しない理由を書面で提出

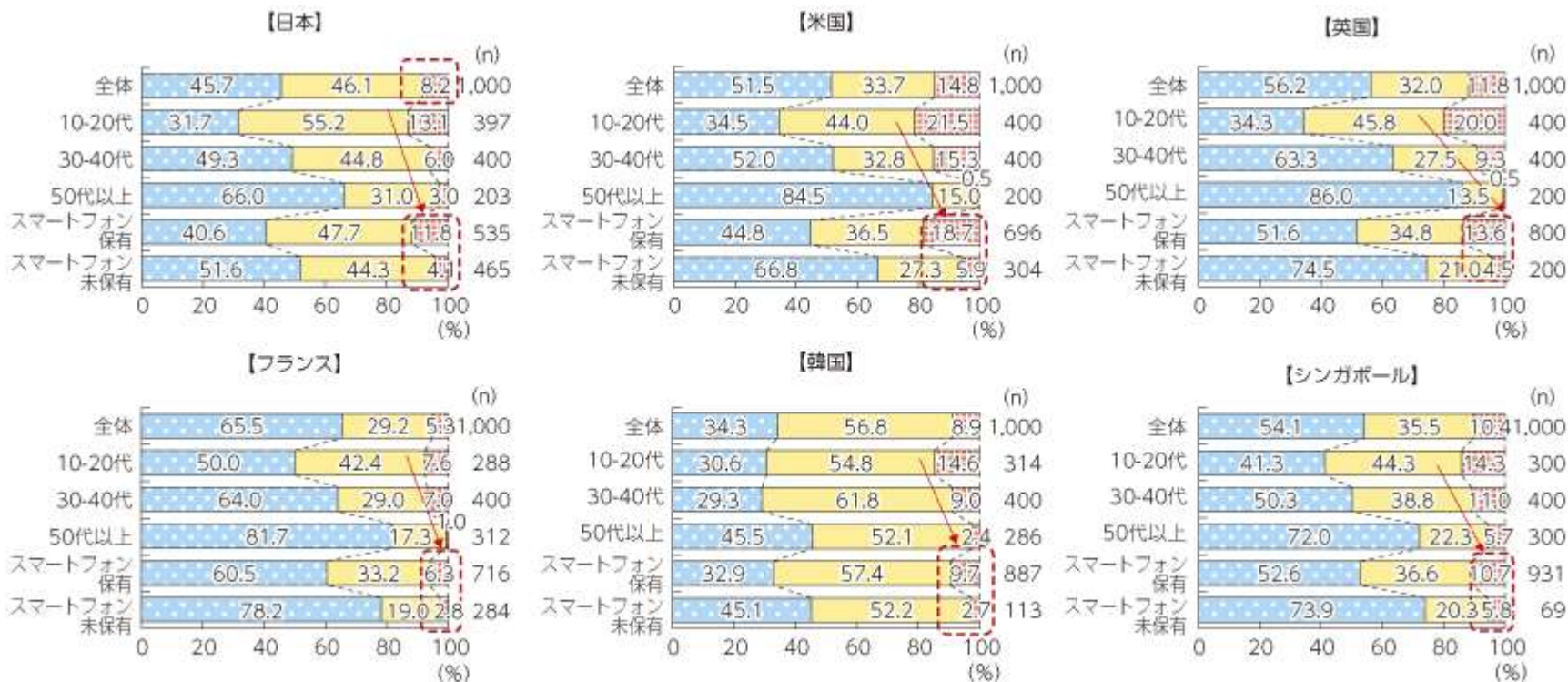
「フィルタリングで安心」はだめ



- 例えば、**利用時間の問題は別**
- メールその他でいくらでも他人と接触可能
- フィルタリング「0か1ではない」
- 親の義務はフィルタリングをかけることで解決するものではない
- 常に、「インターネットの利用を適切に管理」しなければならない

参考：ネット依存傾向の国際比較

- 依存傾向が最も高く出た10-20代を国別に比較してみると、我が国は1割強がネット依存傾向が高い結果となったものの、フランスに次いでこの値は低く、米国や英国は2割前後となった



(出典) 総務省「ICTの進化がもたらす社会へのインパクトに関する調査研究」(平成26年)

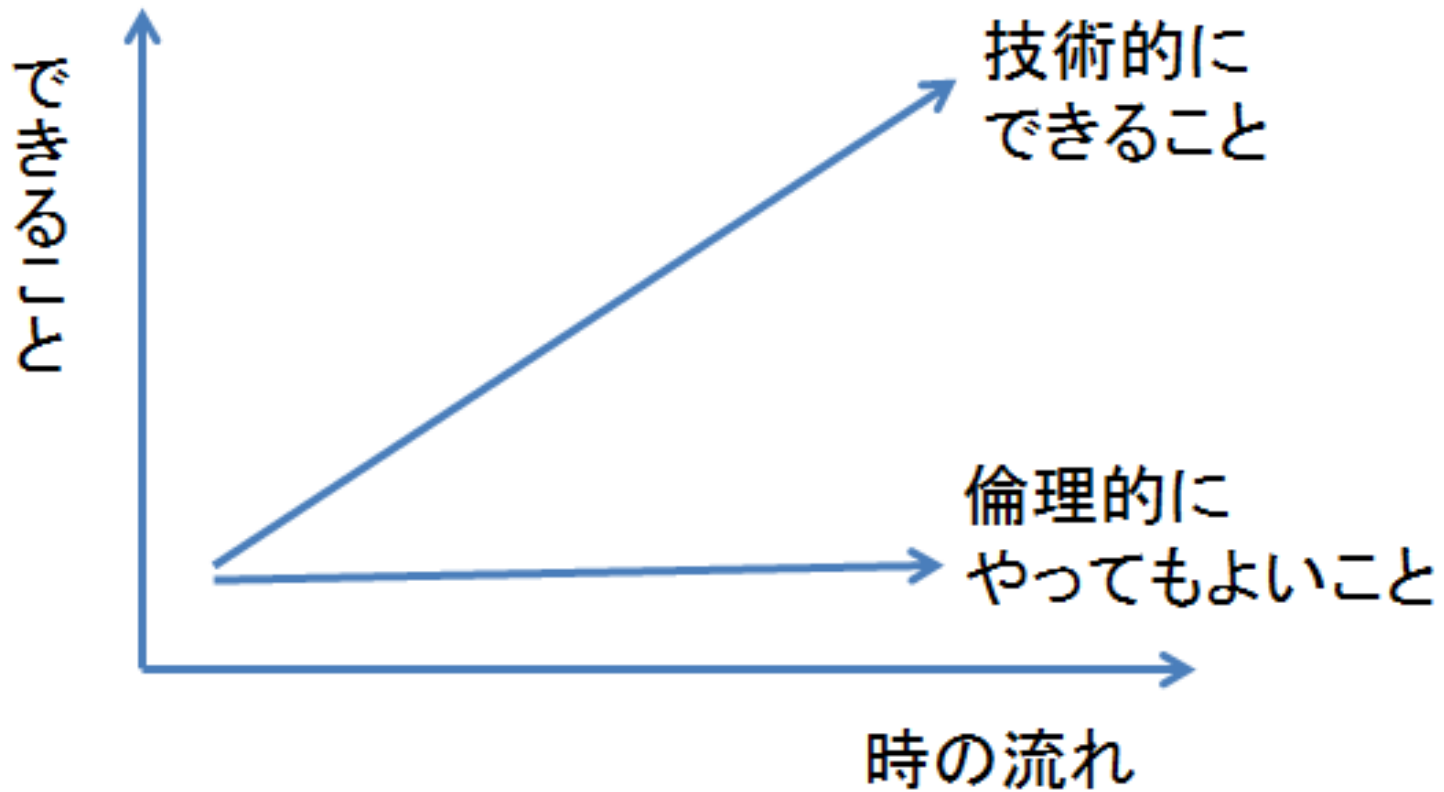
「できること」と「やってよいこと」

- 技術の進歩はすさまじい。
- 結果として我々にできることは時代とともに飛躍的に増加している。
- 今や小学生でもスマホを使って友人の写真を撮り、それをネットにアップして全世界に公開できる。
- しかし、これは友人の肖像権を侵害することになり、やってはいけないことなのである。
- 落ち着いて考えてみると、人間社会において、倫理的に(あるいは場合によっては法的にも)やってもよいことというのは時代が変わっても劇的には変化しないものである。

情報モラルの重要性

- 「技術的にできること」「やってもよいこと」
- この2つのキャップがどんどん拡大していることが青少年のネット・スマホ問題にも大きく影響している。
- 技術の進歩をとめるわけにはいかない以上、我々はギャップの存在を受け止め、常にやってよいことかどうかを判断しつつ行動することが求められることになる

「できること」>「やってよいこと」



情報モラルの重要性が高まる

こわい

IoT

- 犯罪者にとって、知識のない若年層、大人よりも警戒心が薄い若年層は格好のねらい目
- 若年層が興味を持つスマホアプリにウイルスを潜ませ
- 犯罪に加担させることは簡単
- これを未然に防ぐことは至難の業

こわい

マイナンバー占い マイナンバー 対戦



ヘルプデスク (9:00-21:00)

English

トップページ

☎ 03-6666-8801

✉ helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp



特許・実用新案



意匠



商標



審判

[↑](#) [トップページ](#) > [商標](#) > [商標出願・登録情報](#)

商標出願・登録情報

[← 前画面へ戻る](#)

[? ヘルプ](#)

商標名や文献番号等から商標、書誌的事項等を検索できます。なお、検索結果は商標公報に代わるものではありません。

[登録5756402](#)

マイナンバー

09

内閣府大臣官房会計

16

課長

25...

[商願2015-050403](#)

マイナンバー占い

09

株式会社日経ゴルフ

16

41

草の根の

「ネット親学」のすすめ

- 若年層への直接的な教育・啓発は必須だが
- 若年層のネット利用は、やはり親（保護者）が適切に管理することが大切
- PTAと講習会（来てほしい保護者に届かない）
- 回線契約時に講習会とか
- 会社に講習義務（父も母も）とか
- Grafsec-Jでなんとか・・・

ありがとうございました

付録：奈良県のネット利用の現状

青少年が利用する携帯電話のフィルタリング利用等
実態調査結果

平成27年7月

奈良県くらし創造部青少年・生涯学習課

調査概要

1. 調査の目的

県では、平成25年10月の改正「奈良県青少年の健全育成に関する条例」施行後において、青少年が使用する携帯電話のフィルタリング利用等の実態を把握する目的で実施。

2. 実施時期

平成27年1月

3. 調査方法

アンケートによる無記名調査

4. 調査対象者及び回収状況

県内公立小学校6年生保護者			
県内公立中学校2年生保護者			
県立高等学校2年生保護者			
計	1,219	992	81.4%

**平成25年10月に
「奈良県青少年の健全育成に関する条例」
改正
平成24、25、26年の調査結果
平成24年と25年以降の違いを把握**

5. 調査対象となる児童・生徒の男女比

	男	女
県内公立小学校6年生	50.0%	50.0%
県内公立中学校2年生	46.4%	53.6%
県立高等学校2年生	53.3%	46.7%

6. 調査実施

奈良県くらし創造部 青少年・生涯学習課

※携帯電話とは従来型携帯電話(フューチャーフォン)とスマートフォンを合わせたものを指します。

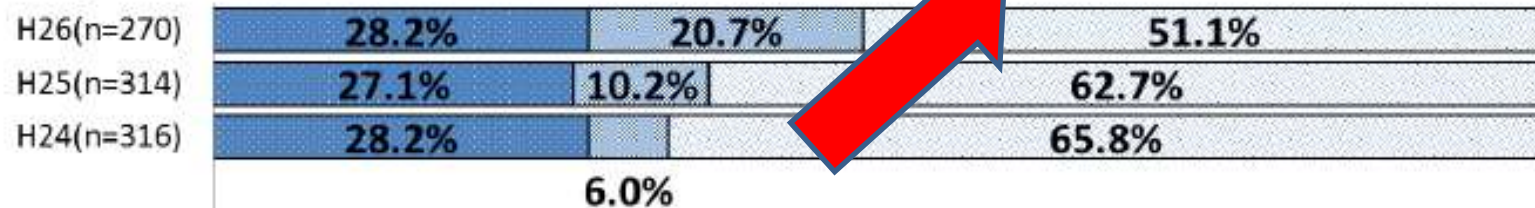
※無回答は除いているため母数が違う場合があります。

回答率は小数点第2位を四捨五入しているため100%にならない場合があります。

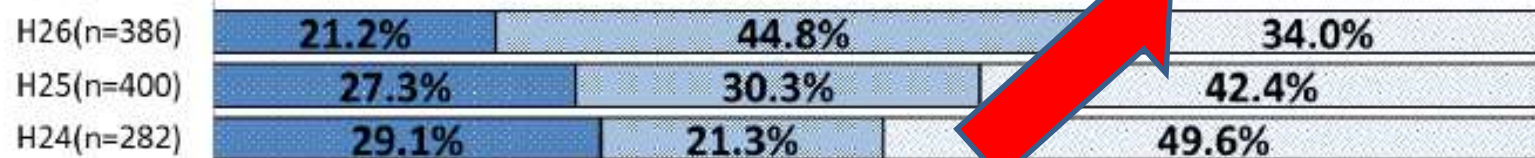
1 携帯電話の所有状況

携帯電話の所有率は、小学生48.9%、中学生66.0%、高校生99.1%
 うち、スマートフォン所有率が小学生20.7%、中学生44.8%、高校生が94.9%で、小学生・
 中学生のスマートフォン所有率が前年等と比較して大幅に増加。

小学生



中学生



高校生



0% 20%

■従来型携帯電話 ■スマートフォン □持っていない

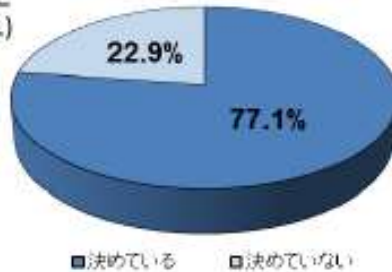
**携帯・スマホ 小50%、中66%、高99%
 小中のスマホ所有が大幅に増加**

3 携帯電話利用ルールの有無とルールの内容

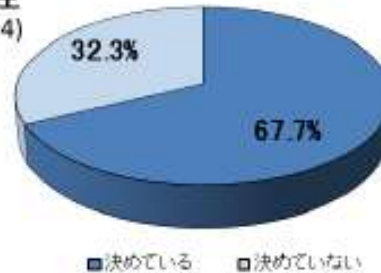
携帯電話利用ルールを決めているのは、小学生77.1%、中学生67.7%、高校生41.6%
内容は、「インターネット利用の禁止・制限」、「利用マナー」が上位。

○携帯電話利用ルールの有無

小学生
(n=131)



中学生
(n=254)



高校生
(n=329)



○携帯電話利用ルールの内容(複数回答)

小学生 (n=279)



中学生 (n=449)



高校生 (n=281)

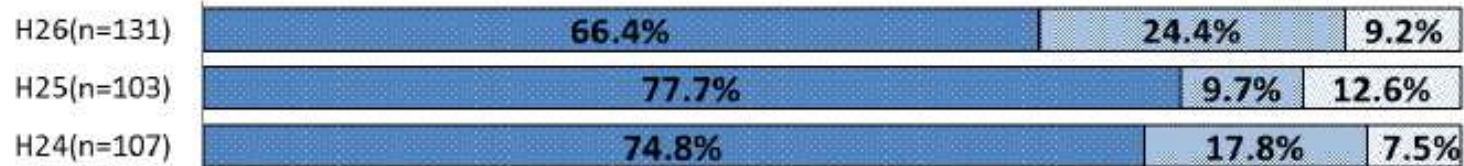


ルール 小77%、中68%、高42%
禁止・制限、マナーが上位

4-1 フィルタリングの利用状況（小学生）

小学生のフィルタリング利用率は、従来型携帯電話69.7%、スマートフォン61.8%、携帯電話（総数）では66.4%

総数



従来型携帯電話

H26(n= 76)
H25(n= 76)
H24(n= 89)

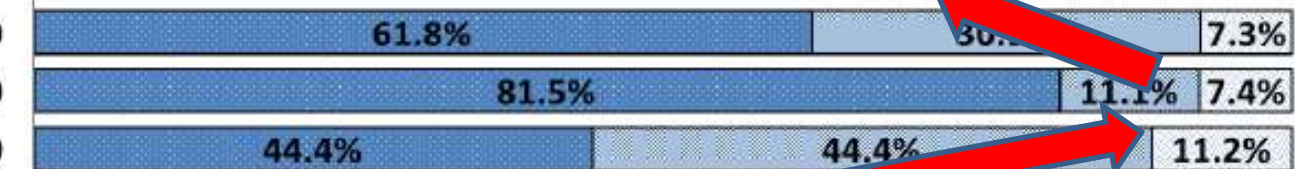
スマホのフィルタリング（小学生）

44% → 82% → 62%

スマホの普及とSNS利用の低年齢化が影響？

スマートフォン

H26(n= 55)
H25(n= 27)
H24(n= 18)



0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ 利用している

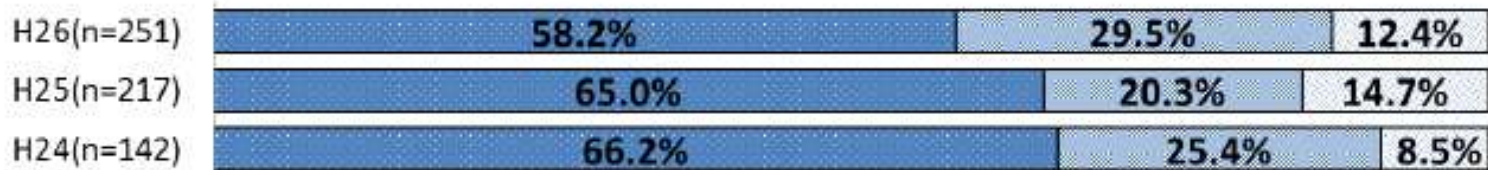
■ 利用していない

□ 分からない

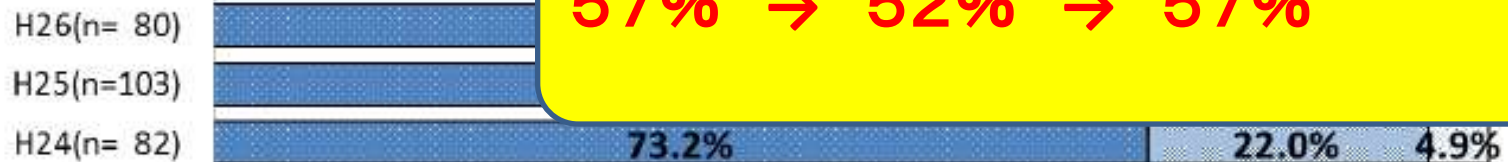
4-2 フィルタリングの利用状況（中学生）

中学生のフィルタリング利用率は、従来型携帯電話61.3%、スマートフォン56.7%、携帯電話（総数）では58.2%

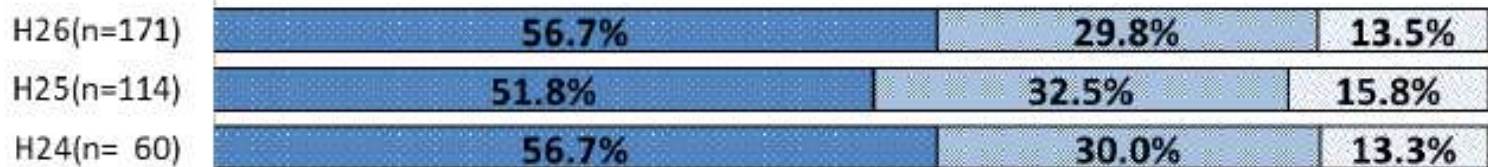
総数



従来型携帯電話



スマートフォン



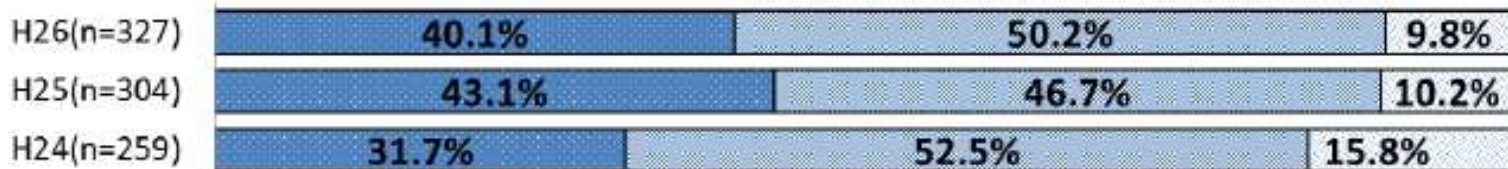
0% 20% 40% 60% 80% 100%

スマホのフィルタリング（中学生）
57% → 52% → 57%

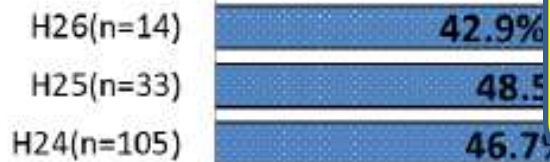
4-3 フィルタリングの利用状況（高校生）

高校生のフィルタリング利用率は、従来型携帯電話42.9%、スマートフォン39.9%、携帯電話（総数）では40.1%

総数



従来型携帯電話



スマホのフィルタリング（高校生）
21% → 42% → 40%

スマートフォン



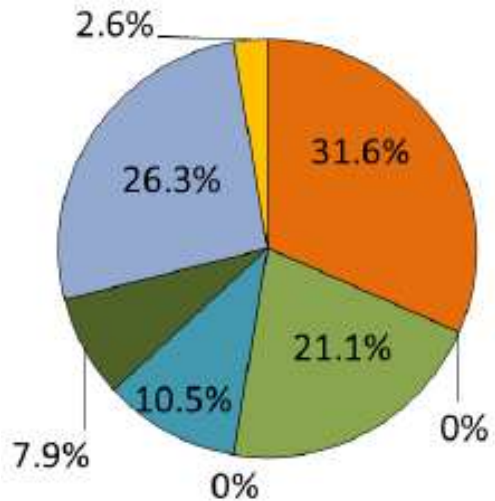
0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ 利用している □ 利用していない □ 分からない

4-5 フィルタリングをしない理由

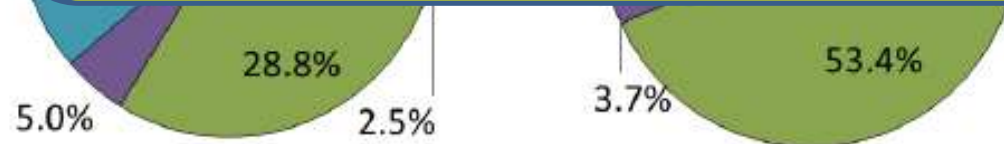
フィルタリングを利用しない理由として、小学生は、「保護者が適切に管理」31.6%、「子供を信用している」21.1%、中学生は、「子どもを信用している」28.8%、「保護者が適切に管理」27.5%、高校生は、「子供を信用している」53.4%、フィルタリングを「必要と感じない」21.1% が上位。

小学生 (n=38)



- 保護者が適切に管理
- 子どもを信用している
- 必要と感じない
- その他

フィルタリングをしない理由
保護者が適切に管理
子どもを信用している
必要と感じない



- 使えないサイトやアプリを使いたい
- 子どもにとって不便
- フィルタリングを知らなかった
- 分からない

5 ゲーム機・タブレット端末・音楽プレーヤーの所有状況 及びインターネット利用、フィルタリングの利用状況

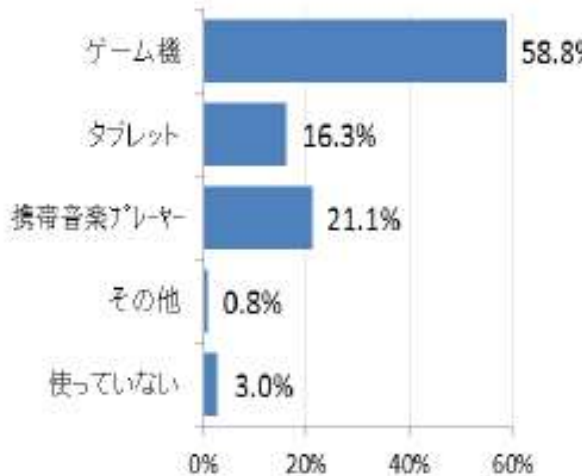
ゲーム機等の所有状況で、所有していない割合が、小学生が3%、中学生が6.1%、高校生が10.8%で、ほとんどの児童、生徒がゲーム機もしくはタブレット、携帯音楽プレーヤーを所有。

これらによりインターネットを利用している割合は、小学生が63.6%、中学生が65.2%、高校生が48.4%で、小・中学生の半数以上がゲーム機等によりインターネットを利用。

インターネット利用者のうち、フィルタリングを利用しているのは、小学生が45.6%、中学生が29%、高校生が14.2%

小学生 (n=398) (複数回答)

○ ゲーム機等の所有状況



ゲーム機所有率

97% (小)、94% (中)、90% (高)

ゲームのフィルタリング率

46% (小)、29% (中)、14% (高)

○ インターネット利用者のうち、フィルタリング利用の有無

